

施設名	旧端出場水力発電所								
所在地	愛媛県 新居浜市								
管理者等	新居浜市								
施設種類・分野	建築								
施設概要 (明治期との 関連含む)	別子銅山の近代化に伴う動力として、本格的な大規模電力設備が必要となったため明治45年5月に建設された。この水力発電所は、銅山川とその支流の七番川などの水を日浦(別子山)に集め、これを日浦通洞、第三通洞坑内水路経由で石ヶ山丈の貯水池まで導き、当時としては東洋一の落差597mを利用して発電した。これにより別子銅山の電化は進み、近代化がさらに促進された。当時のシーメンス社製の発電機も一式残っており、我が国の鉱山における電気事業の発展過程を如実に語る産業遺産である。								
築造時期	明治後期		時期詳細	明治45年5月					
関連人物	河野天瑞、永井専三、林桂一、西川喜計、野上菊太郎、吉田貞吉、工藤治人								
関連企業	住友共同電力(株)								
トピックス (特徴的エピソード)	別子銅山の近代化を支えた象徴である旧端出場水力発電所を将来にわたって保存活用を図るため、建物本体の耐震補強などを含めた具体的な活用等を含む「旧端出場水力発電所保存活用計画」を策定し、平成30年度以降本体工事、周辺工事を予定している。現在、マイントピア別子からの眺望は可能であるが、発電所の周辺及び内部への立ち入りは禁止(非公開)となっており、平成34年以降公開予定。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	愛媛県近代化遺産総合調査報告書(愛媛県教育委員会文化財保護課 2013年)								
管理者等のHP(URL等)	新居浜市 http://www.city.niihama.lg.jp/								